

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

## ほうこく 報告

ねんまえ おおあめ かわ なが りゅうぼく  
1年前の大雨で川に流れた流木がいまはきれいになったとおもいました。(真室川小6月の報告)

## かいどう 回答

かわ おおあめ き えだ  
川は大雨があると木や枝がたくさん  
なが よご じかん  
流れてきて汚れますが、時間がたつと  
みず ちから ひと て すこ  
水の力や人の手で少しずつきれいになり  
ます。自然は回復する力を持っています。

つまり「川が自分の力で元に戻ろうとする」と「人が安全のために手を入れる」の両方で、今のようにきれいな川になっているんです。



しぜん かいふく  
自然の力での回復

- 川の流力が強いと、流木やゴミが下流(かりゅう)にはこぼれていきます。
- 雨がやんで水の量(りょう)がおちつくと、こまかい土や泥(どろ)も沈(しず)んで、水が澄(す)んでいきます。
- 時間が経(た)つと、川自身(じしん)の力で少しずつきれいになっていきます。

かいふく  
人の力での回復

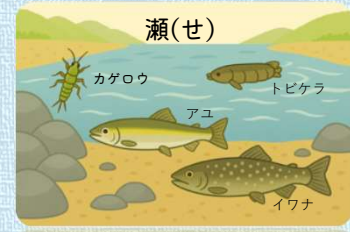
- 村役場(むらやくば)などが、大きな流木(りゅうぼく)や橋に引っかかったものを取りのぞきます。
- 地域(ちいき)の人たちやボランティアが、川原(かわら)に残ったゴミを拾って片付けることもあります。
- 災害後(さいがいご)には「河川(かせん)パトロール」や「災害復旧工事(さいがいふっきゅうこうじ)」で安全に川を保つ活動も行われます。

## ほうこく 報告

かわ なが ばしよ せいぶつ  
川の流れる場所によって生物がちがうなど  
おも むし  
思いました。いろいろな虫がいました。  
(真室川小6月の報告)

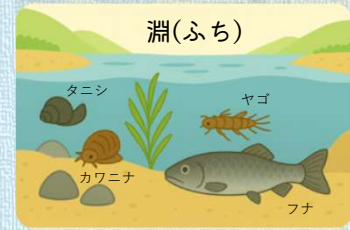
## かいどう 回答

かわ なが はや かわぞこ いし すな  
川は「流れの速さ」「川底の石や砂の  
おお みず ふか  
大きさ」「水の深さ」などによって、  
すんでいる生き物が変わります。



流れがはやい場所【瀬(せ)】

- 水がきれいである酸素(さんそ)が多い
- カゲロウやトビケラなどの幼虫(ようちゅう)、アユやイワナなどの魚が多い



流れがゆるやかな場所【淵(ふち)】

- 砂や泥がたまりやすい
- カワニナ、タニシ、ヤゴ(水生昆虫(すいせいこんちゅう)の幼虫(ようちゅう)、フナなどが見られる

石の下や水草のまわり

- 小さなエビやカワゲラの幼虫(ようちゅう)がかくれている
- 魚の子どものたちのすみかにもなる